

# 市民と語る会

## 5月27日からスタート

### 今年

## 「地域テーマ」を設定

市では、市民の皆さんの声をお聞きし、市政に反映させようと毎年「市民と語る会」を開催していますが、今年も五月二十七日の御成町一丁目会館を皮切りに三十三会場場で順次開きます。今年には皆さんから出していただいた地域や全市民的なテーマについてじっくり話し合いをすることにしました。わたしたちのまちを少しでも住みよくするため、みんなで大いに語り合ひましょう。

市では、できるだけ多くの皆さんから、市政に対するご意見やご要望をお聞きするため、毎年皆さんの町内にお伺いし、市民と語る会を開催しています。

昨年は、四十会場が開かれ、七百六十六人のご出席をいただき、身近な要望から市の将来像についての

のご意見まで幅広く出されました。市では、すぐできるものについては即時に処理し、時間の要するものについてはこれから計画の中に組み入れています。

しかし、年々「市民と語る会」に参加する方が減る傾向にあるため、何らかの見直しの声も出始めていました。そこで今年はいままでどおりのご意見やご要望をお聞きするほか、地域が抱えている問題や、全市民的な課題を皆さんから出していただきその問題について、ともに考え、語る会にしました。各地域であらかじめ「地域テーマ」を決めていただきましたら、市民生活課へお知らせください。五月二十七日から始まる「市民と語る会」の日程は次のとおりです。隣り近所お誘い合わせの上最寄りの会場へおいでください。



▶昨年「商人留会館」での市民と語る会

### 市民と語る会の日程

- 5月27日(月) 御成町一丁目会館
  - 28日(火) 東台二区会館
  - 30日(木) 通町会館
  - 31日(金) 清水南町会館
  - 6月3日(月) 五丁目会館
  - 7月1日(月) 板子石会館
- (へじかん・午後7時~9時)  
※この後の日程については、六月十六日号でお知らせします。

## 銅板屋根にしませんか

銅板屋根は、腐食しにくく耐用年数が長い、ペンキの塗り替えが不用、そして熱が伝わりやすく雪が早く解ける——といった利点を持っており屋根材としては最高です。同補助金制度は、市民が住宅を新築するとき、銅板ぶきとトタンぶきとの差額のうち、住宅ローンの十年間の利息分に相当する四四％を補助しようというもので規模に応じて最高二十五万円まで補助します。

屋根材として最適な銅板、あなたの家の屋根を銅板ぶきにしませんか。  
市の地場産業の振興策のひとつとして、地元鉱山から産出する銅の消費拡大を図ろうと「屋根銅板ぶき推進補助金制度」がこの四月からスタートしました。

補助金・銅板ぶきとカラー鉄板ぶきとの差額五千二百九円(一㎡当たり)に、使った銅板ぶき屋根面積を掛けて得た額の四四％

〈例〉銅板屋根の面積が百平方㎡のときは、二十二万九千円の補助となります。

申込み及び問合せ

市役所都市開発課建築係  
☎49-3111 内線311

## 市長の対話ノート



No.110

### 「定期便です」

「定期便」——良いか、悪いか、いろいろ議論のある陳情のことです。どんな議論があろうとも、国民の等しくもつ「陳情、請願権」ですから、これを否定することはできません。したがって問題はその内容であり、請願する人たちの熱意、姿勢であると思います。

「何回も陳情をいただくと、人にも案件にも愛情を覚えますね」とある方からいわれたことがあります。限られた枠の中の行政ですから、仕事には優先順位がつけられます。それには実情を良く知ってもらうこと、そしてどれだけ地元の熱意があるのかを示すこととなります。陳情はその尺度のひとつであるのです。

小坂インターチェンジ、市郊外の外環状線(東、南、西バイパス)、米代川流域下水道など、その早期実現は市民共通の強い願いです。しかし国の財政からすれば、今まさに冬の時期、そんな時であるだけに陳情は大切なのです。

「定期便です」。これは私の陳情先への第一声です。もちろんその先に「今月の」が入ります。その中には市民の熱い、そして強烈な願いが入っているのです。そして今月もまた定期便は走ります。

留山 健治郎